

農福連携フォーラム

in

東北

仙台開催

2023
9/22(金)
13:00~16:00

参加費
無料

農福連携の魅力とは？

障害者等の就労場の創出だけではなく、農業従事者の減少等の課題を抱える農業側にとっても、人手の確保や地域農業の維持・活性化等が期待でき、「農業」と「福祉」の双方の課題解決につながる取組として、様々な形で全国的な広がりを見せています。

農福連携の現場には、いきいきと農業に取り組む人々や、人と人とのつながり、そして丹精込めて育てられた農産物やそれらの付加価値を高める加工品など、多彩な魅力があふれています。この機会に是非、東北の地域資源を活用した農福連携のさまざまな取組について学んでみませんか。



農福連携フォーラム

開催形式

ハイブリッド開催
(現地 + オンライン参加)

現地 ▶ SS30 第1・2会議室
宮城県仙台市青葉区中央4丁目6番1号



農福連携マルシェも同時開催!

AER(アエル) 2階アトリウム

宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1
10時~17時まで開催しています!(裏面参照!)

応募期間

9月19日(火)まで

定員

現地参加: 50名 オンライン参加: 300名以内

お問い合わせ

株式会社農都共生総合研究所
noufuku@notosoken.jp

お申込はこちら

※メールいただき
次第2営業日以内に
返信申し上げます。



フォーラム内容

ノウフクアワードに受賞・登壇された方を中心に
講演とパネルディスカッションを行います。

講演

[テーマ]

「未来を耕す共生の牧場

~月山福祉会の農畜産事業と障がい者支援~」

2022ノウフク・アワード
準グランプリ(未来を耕す)



社会福祉法人
月山福祉会 理事長
石川一郎 氏



パネルディスカッション

[テーマ]

東北の地域資源とつながりを
活かした農福連携

2020ノウフク・アワード 優秀賞

・社会福祉法人 こころん
関根 考迪氏



2020ノウフク・アワード 優秀賞

・一般社団法人 松島のかぜ 生活支援員
一ノ瀬 和恵氏



・大野自治協議会
泉川 達也氏

〈コーディネーター〉

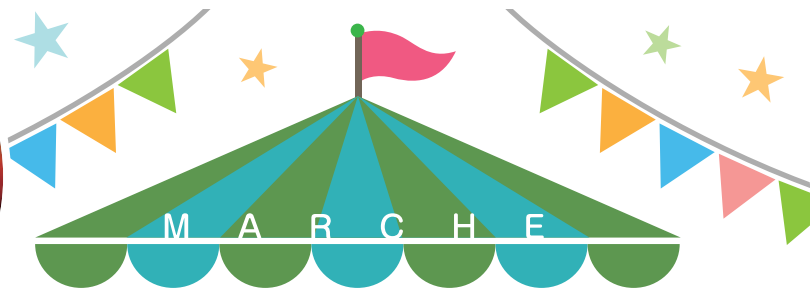
宮城大学 佐々木秀之 准教授

※フォーラムの内容は、予告なく変更する場合がございます。



※登壇者の魅力ある取組
の詳細は右のQRコード
からご覧ください。





農福連携 マルシェ in 東北

仙台開催

～農福連携魅力物語～

東北農福連携の魅力が満載!農業と福祉がつながって、人も地域も元気になる。そんな農福連携の現場で丁寧に育てられた農産物等と、それらを活用した美味しい加工品が東北各地から大集合!!9月22日10時より、AER(アエル)2階アトリウムにてマルシェを開催します!!!
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

場所 ▶ AER(アエル) 2階アトリウム
宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1



農福連携フォーラムも同時開催!

SS30 第1・2会議室
宮城県仙台市青葉区中央4丁目6番1号にて
13時～16時まで開催しています!(裏面参照!)

2023
9/22(金)
10:00～
17:00

*都合により
変更になる場合
がございます。



※写真はイメージです。

参加事業者と
商品(予定)

2022
ノウフク
アワード

1 社会福祉法人 月山福祉会(山形県)
手作りジャム、ワンちゃんビスケット、
乾燥しいたけ、落花生 など

2020
ノウフク
アワード

2 社会福祉法人 こころん(福島県)
たまねぎ、きくいも、さやえんどう、オクラ、
料理酒、卵、ケーキ、クッキー、プリン など

3 一般社団法人 空(福島県)
トマト、ぶどう、大豆、さつまいも、
なめこ、舞茸、ひらたけ、味噌 など

2022
ノウフク
アワード

4 一般社団法人
イシノマキ・ファーム(宮城県)
クラフトビール(巻風エール)、ホップソルト(巻風ホップソルト) など

5 中城建設 まちワクファーム(宮城県)
めんこちゃんにんにく など

6 了美 vineyard and winery(宮城県)
ワイン、黒ニンニク、ガーリックオイル など

7 株式会社 耕野(岩手県)
米・葉物野菜など

8 社会福祉法人 みんなの輪(宮城県)
野菜・ジャム・米粉クッキー・
乾燥糸こんにゃく ほか

9 一般社団法人 ステージバス(宮城県)
ホワイトセロリ、サラダほうれん草、ルッコラ、
ミックスレタス、青パパイヤ など

10 障害者就労支援事業施設
NPOあきたアグリネット(秋田県)
三関セリ・みつば(水耕)、椎茸、菊の花 など

*出店者の魅力ある取組
の詳細は右のQRコード
からご覧ください。



※マルシェの内容は、予告なく変更する場合がございます。

主催：株式会社農都共生総合研究所

後援：東北農政局